■ランプ交換について <u>∧ 注意</u> ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

▲ 警告 指定のランプ以外は使用しないでください。	3 新しいランプを取付ける
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の	ランプの取付けは丁寧に、確実
原因になります。	に行なってください。
▲ 注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため	落下によるけがの原因になりま
触らないでください。やけどの原因になります。	す。
しばらくしてから行なってください。	※白熱ランプは使用できません。 ランプー
 1 電源を切る 2 古くなったランプを取外す 	4 使用済みのランプは 必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ

① 注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。

感電の原因になります。

 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。 ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。

コイズミ照明器具 保証書

取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内

< 保 証 に つ い て >

• 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。 シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤 を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

に故障した場合には、無料修理させていただきます。	販売店・工事店までお申し出ください。
2.保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具	2.保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店·工事店にご相談
の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。	ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理
3 ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたし	させていただきます。
	3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は
4.24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の	弊社サービスセンターにご連絡ください。
	4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有して
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。	います。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 	補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。 従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の	近いよして主に电Xi的ロバヤルとと―トなとの息圧部四は刈家外と9。
使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷	※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷	従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものでは
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合	ありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びに
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び	ご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載の
損傷	コイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。
(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合	
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。	
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。	This warranty is valid only in Japan.
保証期間(お引き渡し日より)本体: 1年間 安定器・LED電源/モジュール:	3年間 取扱販売店名·工事店名·住所·電話番号
お買上年月日	
おお名前	
客 ご住所	

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と

1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの

合わせて大切に保管してください。

<アフターサービスについて>

AP38576L · AP38577L · AP38578L | 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。 お客様 一般の方の電気工事は法律で禁止されています。 事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。 この説明書は必ずお客様へお渡しください。 【安全上のご注意】 告 苞女 この表示 /!\ 死亡また 器具の取付けは、説明書に従い確実に行なって ください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下 厳守 によるけがの原因になります。 このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁 などには取付けできません。ただし、コードハ ンガー使用時のみ45°以内の傾斜天井に取付け できます。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、 禁止 使用後のネジ穴には取付けないでください。 禁止 →器具の落下によるけがの原因になります。 ŤX 45°を超える傾斜天井 壁面 補強のない場所 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用し L ないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。 分解禁止 埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のもの をご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、 樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの (原因になります。 厳守 禁止 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引 っ張ったりしないでください。 →電源コードが損傷し、火災・感電の原因になり ます。 注 意 この表示を無視 \land 傷害を負う可能 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。 接触禁止 この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。 禁止 →火災・感電の原因になります。 水ぬれ禁止 ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必 要です。調光器の取外しには資格が必要です。 禁止 厳守 工事店・電器店に依頼してください。

AP38573L · AP38574L · AP38575L

KOIZUMI

型

番

コイズミ照明株式会社

再生紙を使用しています。



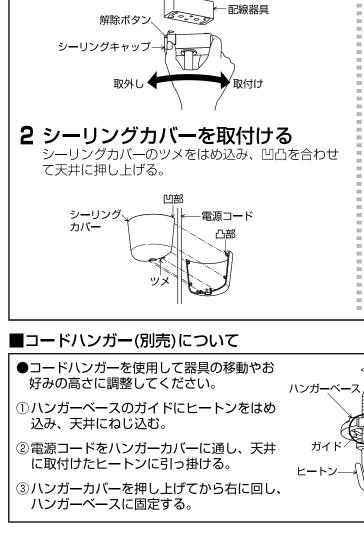




	無視して誤った取り扱いをすると 重傷を負う可能性が想定される内容です。
	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込ま ないでください。 →感電・故障の原因になります。
	器具やランプを布や紙などでおおって使用しな いでください。 →火災の原因になります。
	下図のような配線器具の場合、取付けできません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
-	記線器具の交換が必要です。記線器具の交換 には資格が必要です。工事店・電器店に依頼し てください。
	●破損している ●電源端子露出形
	ビビ割れ 欠けている グラツキや ガタツキ で源端子
	電源コードが損傷した場合(芯線の露出・断線など)、速やかに電源を切り、工事店・電器店に修理を依頼してください。 →そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。
Ŧ	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってく ださい。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因に なります。工事店・電器店にご相談ください。
	て誤った取り扱いをすると または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。
	周囲温度5~35℃、湿度45~85%の環境以外 では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
	器具の下にストーブなどの高温のものを置かな いでください。また、燃えやすいものを近づけ て使用しないでください。 →火災の原因になります。
f	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
	取説No. P103-573L YY/S・T-04

■定格

 P38576L・AP38577L・AP38578L 100V 0.08A 4.4W LDA4-G-K/40W/2×1 付前の確認 天井に右図の配線器具がついている場合 電気工事は不要。取付けられている 記線器具が確実に固定されているか シーリングボディ シーリングボディ アルら間 シーリングボディ アルら間 シーリングボディ アルら間 シーリングボディ アルら間 アルら間 シーリングボディを木ネジで天井に確実 (す) <li< th=""><th>·····································</th><th>定格電圧</th><th>入力電流</th><th>消費電力</th><th>使用ランプ</th></li<>	·····································	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
大井に右図の配線器具がついている場合 電気工事は不要。取付けられている 電気工事は不要。取付けられているか ジーリングボディをホネジで天井に確実 電源確定に取付ける場合 電源確定しているか 1000角形シーリングボディをホネジで天井に確実 1000角ボシーリングボディをホネジで天井に確実 1000角ボシーリングボディをホネジで天井に確実 1000月ボラーレングボディをホネジで天井に確実 1000月ボラーレングボディをホネジで天井に確実 1000月ボラーレングボディをなれなどの生まりであります。 1000月ボラーレングボディー・100日 1000月ボラード 1000月ボラーレング 1000月ボラーレング 1000月ボラーレング 1000月ボラーレング 1000月ボラーレング 1000月ボラー 1000日ボラー 100日ボラー 100日ボラー 100日ボラー 100日	AP38573L · AP38574L · AP38575L AP38576L · AP38577L · AP38578L	100V	0.08A	4.4W	LDA4-G-K/40W/2×1
 電気工事は不要。取付けられている ビックジャディ ジュージッグ ジェージッグ ジェージッ ジェージッグ ジェージッ ジェージッ ジェージッグ ジェージッ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッグ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッグ ジェージッ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッジ ジェージョ ジェージッジェージッ ジェージッジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージョ ジェージッ ジェージッ ジェージッジェージッ ジェージッ ジェージョ ジェージッ ジェージッジェージッ ジェージッジェージョ ジェージョ ジェージョ ジェージョ ジェージョ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージョ ジェージッ ジェージョ ジェージッ ジェージッ ジェージョ	又付前の確認				
 電気工事は不要。取付けられている ビックジャディ ジュージッグ ジェージッグ ジェージッ ジェージッグ ジェージッ ジェージッ ジェージッグ ジェージッ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッグ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッグ ジェージッ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッグ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッジ ジェージョ ジェージッジェージッ ジェージッジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージョ ジェージッ ジェージッ ジェージッジェージッ ジェージッ ジェージョ ジェージッ ジェージッジェージッ ジェージッジェージョ ジェージョ ジェージョ ジェージョ ジェージョ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージッ ジェージョ ジェージッ ジェージョ ジェージッ ジェージッ ジェージョ	- 1 天井に右図の配線器具がつい	ている場	局		
 確認する。 <i>シーリングボディ ブル目間</i> <i>フレービット</i> <i>フレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレービット</i> <i>アレージングボディー・1回</i> <i>アレージングボディ・・・1回</i> <i>アレージングボディ・・・1回</i> <i>アレージング</i> <i>アレージングボディ・・・1回</i> <i>アレージング</i> <i>アレージングボディ・・・1回</i> <i>アレージング</i> <i>アレージングボディ・・・1回</i> <i>アレージングボディ・・・1回</i> <i>アレージングボディ・・・1回</i> <i>アレージングボディ・・・1回</i> <i>アレング・フレングボディ・・・1回</i> <i>アレング・フレングボディ・・・1回</i> <i>アレング・アレングボディ・・・1回</i> <i>アレング・アレングボディ・・・1回</i> <i>アレング・フレングボディ・・・1回</i> <i>アレング・フレングボディ・・・1回</i> <i>アレング・アレング・アレングボディ・・・1回</i> <i>アレング・アレング・アレングボディ・・・1回</i> <i>アレング・アレング・アレングボディ・・・1回</i> <i>アレング・アレング・アレング アレング・アレング・アレング・アレング・アレング アレング・アレング・アレング・アレングボディ・・・1回</i> <i>アレング・アレング・アレング・アレング・アレング・アレング・アレング・アレング・</i>	電気工事は不要。取付けられている	<u> </u>			
 記線器具がついていない場合 付置の内部シーリングホディを木ネジで天井に確実 に取付ける。 (取付ける) (取料天井に取付ける場合 ※コンクリート天井には取付けできません。 (少少一下ディーングー(引売)を使用する。 (シートンは天井内に補強材のある位置に 取付ける。 (シートンの間口部を模斜方向の上に向く ように取付ける。 (本学 本 本 や板などの強度の弱い場所には取付けないでください。 (本学 まで 本 本 物の原因の弱い場所には取付けないでください。 (本学 本 本 本 物の原因の弱い場所には取付けないでください。 (本 本 本 地 板 な の 強度 切 か の 強度 取付けの際は必ず電源を切ってください。 (本 本 本 地 板 な の 強度 切 け か い でくたさい。 (本 本 本 地 板 な か 強度 取付けの際は必ず電源を切ってください。 (本 本 本 地 板 な か 強度 取付けの際は必ず電源を切ってください。 (本 本 本 地 板 な か 電源 本 切 っ か 本 本 切 ・ ・ 1 個 (本 カ か 一 本 本 切 ・ ・ ・ 2 本 の カ つ エ カ か ー ・ ・ ・ ・ 2 本 の カ つ エ カ か ー ・ ・ ・ ・ 2 本 の カ つ エ カ か ー ・ ・ ・ ・ 2 本 の カ つ エ カ い か か ー ・ ・ ・ ・ 2 本 の カ つ エ カ か ー ・ ・ ・ ・ ・ 2 本 の カ つ エ カ か ー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		-	ディ フノ	レジョン レジョン レジョン レジョン レジョン レジョン レジョン レジョン	
竹鹿の町ルシーリングホティを木ネシンC大井に健実 に取付ける。	2 配線器具がついていない場合		-		
(解決天井に取付ける場合 ** コンクリート天井には取付けできません。 の必ずコードハンガー(別売)を使用する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		キに確実			
				7-7	
 ※コンクリート天井には取付けできません。 ①必ずコードハンガー(別売)を使用する。 ②ヒートンは天井内に補強材のある位置に 取付ける。 ③とートンの開口部を頓斜方向の上に向く ように取付ける。 △ 警告 ペニヤ板などの強度の弱い場所には取付けないでください。 ▲ 警告 ペニヤ板などの強度の弱い場所には取付けないでください。 ⑦ 本 二 本 一 本 二 本 一 本 二 本 一 本 一 本 一 本 一 平 一 一 2 - 平 一 一 2 - 平 一 2 - 平 一 2 - 平 一 2 - 平 一 2 - 平 一 2 - 平 一 2 - 平 一 2 - 平 一 2 - 平 一 2 - 平 一 2 - 平 一 2 - 平 一 2 - 平 - 平 - 平 - 平 - 平 - 平 - 平 - 平 - 平 -	3個刹车サに取付ける塩今				─
 0.必ずコードハンガー(別売)を使用する。 ② ヒートンは天井内に補強材のある位置に 取付ける。 ③ ヒートンの開口部を模斜方向の上に向く ように取付ける。 Δ 警告 ペニヤ板などの強度の弱い場所には取付けないでください。 本 ニヤ板などの強度の弱い場所には取付けないでください。 酒下によるけがの原因になります。 付手順 ① 注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。 感電の原因になります。 DRIG-部舶線化した共通部品図です。 Bod有無・損傷を確認し、不偏の陽は取付けないでください。 			× ×		
 ②ヒートンは天井内に補強材のある位置に 取付ける。 ③ヒートンの開口部を傾斜方向の上に向く ように取付ける。 ▲ 警告 ベニヤ板などの強度の弱い場所には取付けないでください。 査告 ベニヤ板などの強度の弱い場所には取付けないでください。 水 二 竹子順 人注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。 感電の原因になります。 DOBは一部抽象化した共通部品図です。 ②の4億・損傷を確認し、不偏の際は取付けないでください。 		WE			
 取付ける。 ③ とートンの閉口部を傾斜方向の上に向く ように取付ける。 ▲ 警告 ベニヤ板などの強度の弱い場所には取付けないでください。 ※ 本 ニヤ板などの強度の弱い場所には取付けないでください。 ※ 本 ニヤ板などの強度の弱い場所には取付けないでください。 ※ 本 ニャレック グイ耳順 Δ 注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。 感電の原因になります。 グイ耳順 Δ 注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。 ※ 本 ニャレック (サイエード サーリングキャップ ・ マード ・ マード ・ マード ・ マード ・ マード ・ マード ・ マード ・ マード ・ マーリングキャップ ・ マード ・ マード ・ マード ・ マード ・ マーリングキャップ ・ マード ・ マード ・ マード ・ マート ・ マード ・ マード ・ マード ・ マード ・ マード ・ マート ・ マート	- , ,			Л	
ように取付ける。 45°まで ▲警告 ベニヤ板などの強度の弱い場所には取付けないでください。 落下によるけかの原因になります。 付手順 ▲注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。 感電の原因になります。 の回は一部抽象化した共通範疇回です。 の回は一部抽象化した共通範疇回です。 の回は一部抽象化した共通範疇回です。 の回は一部抽象化した共通範疇回です。 の回線・振得想を確認し、不備の際は取付けないでください。 御除ボタン の目になります。 の目になります。 の目になります。 の回線は取付けないでください。 御除ボタン の目になります。 の目になります。 の目になります。 の目します。	取付ける。	1111 e	\circ	, L	
▲ 警告 ベニヤ板などの強度の弱い場所には取付けないでください。 落下によるけがの原因になります。		イ <u>/</u> 45°まで			\land \bigtriangleup
付手順 公注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。 感電の原因になります。 DD図は一部抽象化した共通部品図です。 品の有無・損傷を確認し、不嫌の際は取付けないてください。 部の有無・損傷を確認し、不嫌の際は取付けないてください。 解除ボタン シーリングキャップ 軍源コード レード ソケット ウ目 第 シーリングボディ・・・1個 レージ キネジ・・・・・2本	▲警告 ベニヤ板などの強度の弱い場所には	ま取付けない	でください	0	
Dy Dy La Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Ba					
品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。 解除ボタン シーリングキャップ 電源コード セード ソケット グケット クリングボディ・・・1個 の一回の ホネジ・・・・・・2本 アンプ		刃ってくださし	い。 感電の	原因になりま	₹ ず 。
対属部品〉	この図は一部抽象化した共通部品図です。 部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください	0			
丁属部品〉	解除九	「タン―	<u> </u>	レノグナムップ	
			<u></u> کر)))++)))	
			_		
		\square		ר גיי	
対属部品〉 \widehat{P} \widehat		¢.			
対属部品〉 \widehat{P} \widehat					
対属部品〉			/t-	۲	
対属部品〉				- w K	
角形 シーリングボディ・・・1個 の ホネジ・・・・・・2本 ランプ	/				
角形 シーリングボディ・・・1個 の ホネジ・・・・・・2本 ランプ)	- 1		
角形 シーリングボディ・・・1個 の ホネジ・・・・・・2本 ランプ	〈付尾部品〉		//	//	
シーリングボディ・・・1個 ランプ () ホネジ・・・・・・2本	\sim				
シーリングカバー・・・1セット	① 木ネジ・・・・・・2本	Æ	*──ラン →	プ	
	シーリンクカハー・・・「セット	\sim	-		



1 シーリングキャップを接続する

※取外すときは解除ボタンを押した状態で左に回す。

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。 数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施して ください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。 器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。 器具と音響製品を離してご使用ください。
- ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個 4箇所操作までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチ を使用してください。

■LEDランプ使用上のご注意

- •LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。 光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。 • LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。 ランプ点灯時に点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

取説No. P103-573L YY/S・T-04

3 ランプを取付ける

4 点灯の確認を行なう

